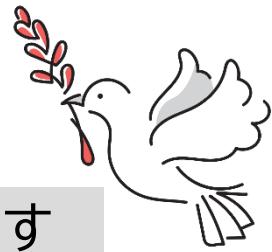


特別号

ほっとレター



身近な福祉の窓口 支え愛・ほっとステーションです

きょうぎたい

第二回大井6・7丁目協議体ミーティング 『孤立・孤独を防ぐ地域づくりとは』

9/18(木)に有料老人ホームチャームスイート品川大井をお借りして地域の見守りについて話し合いました。地域住民、民生委員、地域支援員、町会、ケアマネジャー、施設職員など23名の方にお集まりいただきました。

第一回「地域の見守りでできること必要なこと」
を5/22(木)に開催しました。



第二回目は
事例をもとに見守りを考えました

どんな見守りができるだろう？



なにが必要かな？



グループワークの詳細は裏面へ

大井第三 支え愛・ほっとステーション

品川区西大井2-10-3
☎03-6429-9637

＼ホームページ・ラインもやってます／



【開設日時】

月～金曜日(祝日除く)

9:00～17:00

担当:横瀬・金子

一人暮らし

ご近所付き合いがない
ゴミ屋敷
エアコンを使わない

グループワークの内容



高齢のBさん

★ 何ができるだろう？Bさんに必要なものは？

地域で見守る

親しい人や関わりがある人がいち早く気づくチャンス！

業者や関係機関とつながる



周囲の人が気づく
挨拶などでゆるやかに見守り
時にはおせっかいな声掛けも
具体的な困りごとへの声掛け



新聞・生協・水道業者
民生委員・町会・医者
区役所・在宅介護支援センター

見守りの工夫



ポストを活用した見守り
手紙が数日後に取られているかまで確認

誰でも参加できるイベント・「一人で悩まない」チラシ・地域放送
熱中症対策ドリンク配布事業のような見守り・救急代理通報システム



★ 事例から考えて気づいたこと

たくさんのアイデアがありました！

Bさんはどんな人だろう？



困っている自覚がない・人間関係で嫌な想いをした・家族関係がよくない
外に出る習慣がない・性格が気丈・「助けて」と言えない・情報を受け取れない

個人情報の取り扱い・インターネットの普及・人の入れ替え



関わる難しさ

社会の変化

高齢者は残された時間をどう過ごすかに関わるので積極的な介入は難しい。
若い身内がいないとサービスを受けたり、つながりを作るきっかけがない。

個人が抱える問題
本人を取り巻く環境



関わり方の工夫

距離感

情報の発信

★ 話し合いを続けることが大切！



たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました！